

避難するところ（避難所など）

桜宮小学校（東野田町1-10-19 電話：06-6351-1577）

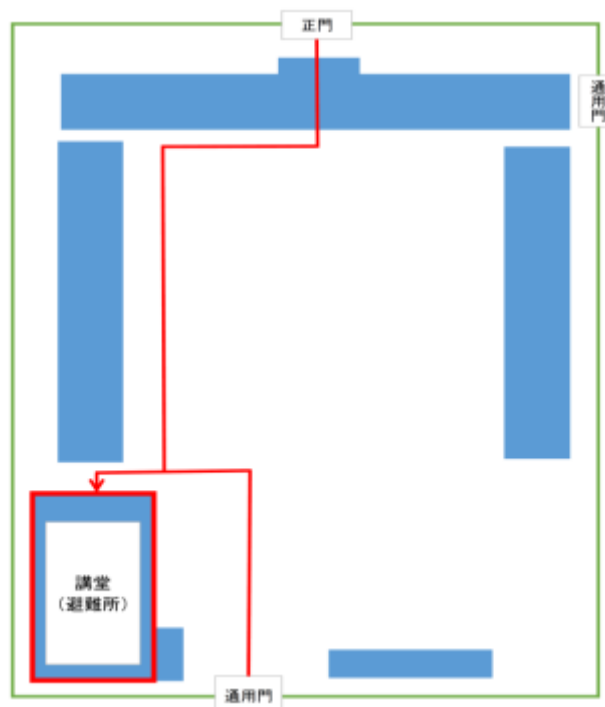
● は町会別一時避難場所

運営委員長	7町会長
副委員長	3町会長
	桜宮小PTA会長
運営委員	避難する町会の役員、 桜宮小PTA
鍵保管者	自主防災組織が 保管
学校に避難 する町会	1町会、2町会、 3町会、5町会、 6町会、7町会、 9町会



災害時避難所の配置図（変更することがあります）

対象エリアの人口：約6,000人
（平成27年国勢調査速報集計結果による概数）



避難するところ（避難所など）

桜宮中学校（東野田町5-16-10 電話：06-6921-6934）

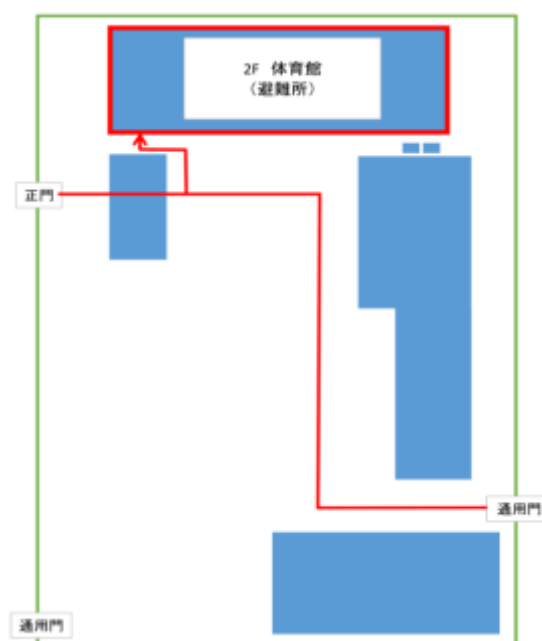
●（は町会別一時避難場所）

東都島地域の方も避難します。

運営委員長	20町会長
副委員長	17町会長
	桜宮中PTA会長
運営委員	避難する町会の役員、 桜宮中PTA
鍵保管者	自主防災組織が 保管
学校に避難 する町会	12町会、13町会、 14町会、17町会、 20町会



災害時避難所の配置図（変更することがあります）



対象エリアの人口：約5,300人
（平成27年国勢調査速報集計
結果による概数）

避難するところ（避難所など）

東高校（東野田町4-15-14　電話：06-6354-1251）

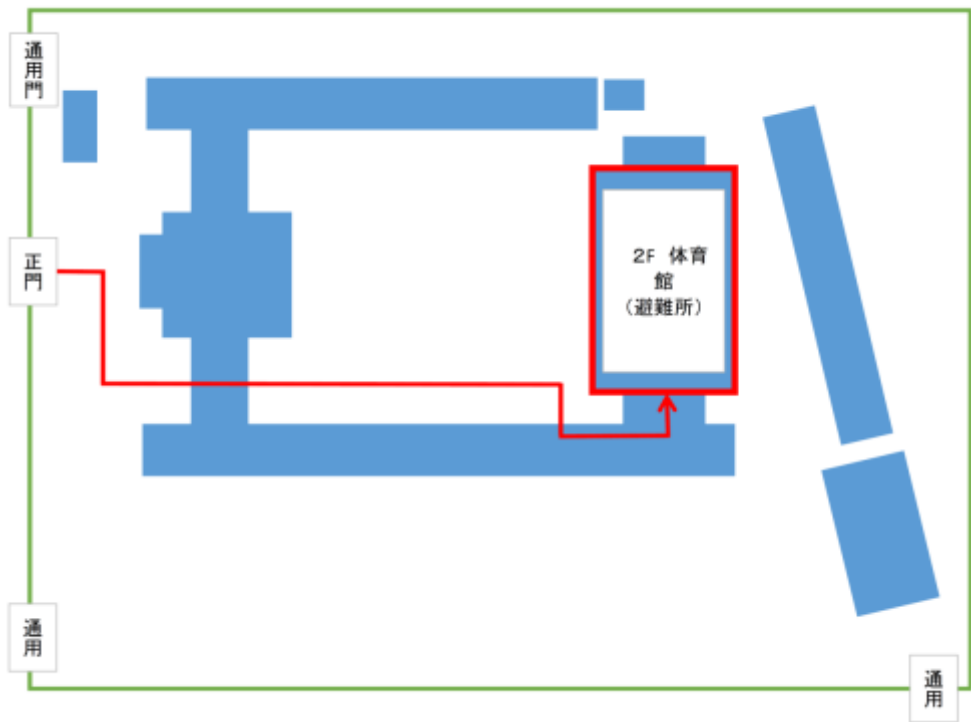
● は町会別一時避難場所

運営委員長	16町会長
副委員長	8町会長
運営委員	避難する町会役員
鍵保管者	自主防災組織が 保管
学校に避難 する町会	8町会、11町会、 15町会、16町会、 18町会、19町会



対象エリアの人口：約5,000人
(平成27年国勢調査速報集計結果による概数)

災害時避難所の配置図（変更することがあります）



桜宮地域の避難先・避難施設・病院など

各施設の受入れ人数

		一時避難の 受入れ人数	災害時避難所 受入れ人数	津波避難 受入れ人数
一人当たりの 面積		1.0㎡/人	1.6㎡/人	1.6㎡/人
使用場所		体育館、 教室、廊下、 グラウンドなど	体育館、 教室など	3階以上の教 室、廊下など
避難 所 名	桜宮小学校	3,200人	1,000人	952人
	桜宮中学校	1,400人	900人	1,408人
	東高校	16,000人	1,400人	3,341人
	太閤園(株) 9時30分～22 時00分(12月 31日は除く)			3,159人

大規模災害時協力事業所

大規模災害時に企業・事業所の人的・物的資源を活用して、
地域の救出・救護活動に参加していただく制度です。



オリオン建設(株)	片町1-4-12	06-6353-1521
桜宮ゴルフクラブ(株)	中野町2-5-27	06-6351-2155
(株)京阪流通システムズ京橋事業部	東野田町2-1-38	06-6353-2525
中村電設(株)	東野田町5-13-14	06-6921-6514

桜宮地域の避難先・避難施設・病院など

広域避難場所

同時多発火災が発生し、人命に著しい被害を及ぼすと予測される場合の避難場所です。

広域避難場所	地震	火災	津波	洪水
淀川河川公園毛馬地区	○	○	×	×
旭公園一帯	○	○	×	×
大阪城公園	○	○	○	×



災害時避難所

宿泊・給食等の生活機能を提供できる施設。都島区のすべての小・中・高校が指定されています。



一時避難場所

一時的に避難できる広場、公園や学校の校庭など。

福祉避難所

災害時において、高齢者や障がい者など、一般の避難所生活において特別な配慮を必要とする方々を対象に開設される避難所。

グループホーム 片町苑	片町2-9-25	06-6357-5793
デイサービス 片町苑	片町2-9-25	06-6357-5793
生活訓練施設 加光	東野田町5-5-16	06-6351-8668
就労移行支援 事業所きょうばし	東野田町5-5-1	06-6357-7007

津波避難ビル

津波などの水害から一時的または緊急に避難・退避する施設。一定の条件があります。



病院(周辺を含む)

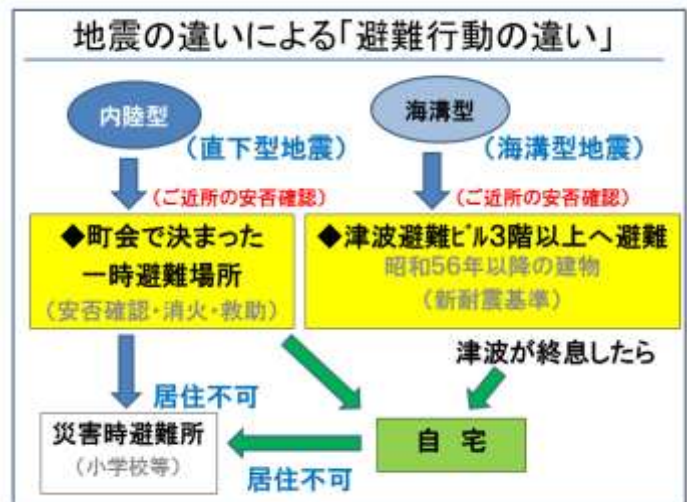
大阪市立総合 医療センター	都島本通2-13-22	06-6929-1221
都島休日急病 診療所	都島南通1-24-23	06-6928-3333
明生病院	東野田町2-4-8	06-6353-3121
協和病院	東野田町5-2-25	06-6357-1131
聖和病院	中野町1-7-32	06-6352-2525

地震の際の避難の流れ

◆地震によって、津波の可能性があるかどうかで避難先がかわります

地震発生後、まずは自身の身の安全を守ってください。次に家族や隣近所の安否を確認し、テレビ・ラジオ・防災情報メールなどで**津波の可能性**があるのかを確認してください。

火災の消火や救助が必要な場合は協力し、自宅にすることが危険と感じた場合は災害時避難所へ移動しましょう。



津波の可能性あり→

津波避難ビルの3階以上へ避難

津波の可能性なし→

一時避難場所へ避難

◆帰宅困難者対策

